

高島市地域子育て支援センター
第1回子育て講座

市内の6地域子育て支援センター合同で「子育て講座」を開催します。
第1回目は、お子さんと素敵な笑顔でふれあっていただく「おやこで体をうごかしてあそぼう」です。会場いっぱいにお子さんの笑顔があふれる楽しい講座です。ですので、ぜひご参加ください。



★日 時 9月5日(月) 10時30分～11時30分
★場 所 安曇川公民館(安曇川ふれあいセンター)
★講 師 松本貴志(なないろ保育園副園長)
★対 象 市内未就園児親子 80組
★参加費 無料
★無料託児あり(生後4か月以上。8月8日(月)10時から24日(水)までにお申し込みください。)(先着15人)



各子育て支援センター
マキノ(27)8187
今津(22)4833
朽木(38)2070
新旭(25)3399
安曇川(33)1540
高島(36)0660

マキノ東小学校屋内運動場 改築工事が始まる



主要構造 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造平屋建
床面積 617.5㎡
部屋構成 アリーナ、器具庫、更衣室、トイレ、玄関ホール廊下
工期 平成23年6月9日～平成24年3月23日
主な付帯施設 カヌー庫 51.35㎡(カヌー20艇を保管)

マキノ東小学校屋内運動場は、昭和47年12月の建築から38年が経過し、老朽化が著しく、耐震化も必要となっていました。このため、6月に屋内運動場を解体し、改築工事に着手しました。

改築後は、スポーツ振興を図る学校開放施設、災害時の避難施設としても活用します。今年度は、マキノ中学校柔剣道場耐震工事も行いことから、年度末には小中学校施設の耐震化がすべて完了します。

子どもの虐待をなくそう！⑥ 児童虐待はどうして起きるのでしょうか？



子育てには、色々な「不安」や「ストレス」が伴います。虐待はこのような「不安」や「ストレス」が高じて起きることがあります。虐待は特別なことではなく、誰にでも起こりうる危険性があるのです。特に右の表のような要因が重なったときに虐待へ発展しやすいと考えられています。

| 保護者側の要因 | <ul style="list-style-type: none"> ・若年結婚等で「親になる心の準備」ができていなかった ・うつ病など精神的に不安定な状態に陥っている ・自分自身が虐待を受けて育った ・長期入院などにより親子が長く離れていた期間があった |
|-----------|---|
| 子ども側の要因 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気質(よく泣いてなだめにくい、非常に頑固) ・子どもが慢性的疾患を持っていたり、障がいがあったりする |
| 養育環境による要因 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済的に困っている ・夫婦関係がうまくいっていないなど家庭内に問題を抱えている ・夫婦間に暴力(ドメスティック・バイオレンス)がある ・頻繁に転居を繰り返している ・親族や地域から孤立している(周囲の協力者が少ない) |

●今回は「子ども側の要因」に注目します

「よく泣いて、なだめにくい」、「要求を強くあらわし、そのことにひどくこだわる」などの特性のある子は、「手のかかる子」「育てにくい子」という言われ方をされることがあります。これらと同様の特性は発達障がいのある子にも見られます。親自身や周囲の人が子どもの特性や障がいを理解できていないと、親の意図するようなしつけが上手くいかないことでストレスを感じ、虐待をしてしまうこともあります。さらに、子どもに落ち着きがなく、他の子と同じような集団行動ができない時に、周囲から「親のしつけが悪い」と注意を受けると、「しつけをしなれば」という親の責任感から虐待がよりひどくなってしまったりすることもあります。

また、虐待を受けている子どもたちは「自分のことなんか分かってもらえない」という強い挫折感を持っていて、虐待を経験しているうちに発達障がいの特性が出てくることもあります。「怒鳴ったり叩かないで子どものしつけをしたい」これはきっとすべての親の願いだと思います。そのために、子どもの特性をよく理解し、子どもに合った具体的な言葉がけや統一したルール作り、専門家や支援者に相談しアドバイスをもらうことも一つの方法です。

子育てに疲れていませんか？
ひとりで悩まないで、いつでもお電話ください

子ども家庭相談課 ☎(25)8517 または市内各保健センター
滋賀県中央子ども家庭相談センター ☎077(562)1121

第6回定例会報告

6月27日開催

主な協議、報告事項

- ・高島市少年センター運営委員会委員の委嘱について
- ・高島市立学校学校評議員(幼稚園)について
- ・教育研究所夏季研修講座の実施について
- ・公民館類似施設のあり方について
- ・平成24年高島市成人式の開催と運営について
- ・朽木西小学校平良分校の今後について
- ・マキノ東小学校屋内運動場について

スクールマネジメントと学校評価の取り組み

市内の小中学校では、4月にスクールマネジメント(学校教育到達目標)を作成して、教育活動を進め、年度末には学校評価を行っています。また、学校評価では、スクールマネジメントの到達目標を主な評価項目に設定して、達成状況や取り組み状況等を評価し、学校経営の改善を図っています。

《評価の例》

- 到達目標 児童の80%以上が、家庭学習の時間を学年×10分(1年生は20分)としている。
- 達成状況 児童による自己評価 72%
保護者の評価 64%
- 改善方法 家庭学習の手引きを作成し、児童への指導、保護者の協力を求める。

放課後の子どもたち ⑩

市がメール配信している不審者情報は、最近、集団登校中の子どもたち「学校に行かず遊ぼう」とか、下校中に「一緒に帰ろう」と声をかける人がいる事案などがありました。また、遊んでいる子どもを携帯電話で突然撮影する事案も発生するなど、子どもたちを取り巻く環境は、決して安全とはいえません。子どもたちが安心して過ごせるよう地域で子どもを見守り、危険から守るため、スクールガードの皆さんには通学路上の安全確保や校区内のパトロール、子ども安全リーダーの皆さんには、犯罪や事故から子どもを守る活動をしていただいています。また、家庭や事業所には、困ったときに助けを求められることも100%の家の家や車などにご協力いただき、地域全体で子どもを守る取り組みを推進しています。

